

国際協力特別賞

宗教を理解する

春日部共栄中学校 3年

新井 彩香

世界中の国々がつながり、平和になるためには、お互いが持つ宗教を理解することが必要不可欠だと思います。

現在この世界には、多種多様な宗教と、それを信じる大勢の人々がいます。それは大昔から変わらないことであり、宗教があるからこそ、文明が発達してきたと言っても、過言ではありません。そして、この宗教が多くの戦争の原因となっていることも事実です。

私が小学生の時、同級生にエジプト人の女の子がいました。その子はイスラム教徒で、頭にいつも布を巻き、服は長袖。給食も豚肉をよけて食べていました。でも、小学生の私たちはその子の格好や食事の仕方を気にせず、少し無口な普通の女の子として接していたし、給食に彼女の食べられないものが入っていたときは、できるだけ取り除いて渡しました。もう彼女と会わなくなって何年もたちますが、私は彼女の顔と名前を忘れることはありません。

しかし、今周りを見てみると、イスラム教の人イコール悪い人、危険な人、という認識を持っている人が沢山いるように思います。それは無宗教の人が大半であるこの国では感覚的なものがつかみにくいのかもかもしれません。しかし、だからと言ってそれが仕方のないことであるとか、これからもこのようなものの見方を改めなくてもよいなどは、私は思いません。この、他の宗教を理解して受け入れようとする思考・意識を持つことが、私たち一人一人が世界の未来のためにできるとても重要なことだと思うのです。

他の宗教を完全に理解して、全てを受け入れることは、もちろんた易くできることではありません。しかし、この宗教の人たちはこういう習慣を持っているのだとわかったら、それにできるだけ合わせていくことは意識次第で誰にでもできることです。小学生の私たちにできたことができないなどということは、決してないと思うのです。例えば、クラスに足の遅い子がいて、何人かはそれを笑ったり嫌がったりするかも知れません。でもその子の足の速さ以外の良い所を見つけて友達になる子はたくさんいます。それが普通のことであったら、自分たちと違う宗教を持つ人を受け入れることもまた、ごく普通だと思います。どんな宗教の信者であれ、人間であることに変わりはありません。

お金の問題を考えたら、世界を救うなどという大それたことは、私たちにはできません。
しかし、宗教を受け入れる気持ちが誰にでもあるならば、戦争は確実に減ると思います。
宗教を争いの原因ではなく相手のことを知る要因にできたなら、この世界はもっと広くな
ると思うのです。